



ふた付鉢



日本酒のラベル

関連イベント

ちゃれんがワークショップ

マイヅルソウとツル植物の観察会

日時 7月18日(土) 10:00~12:00
会場 野幌森林公園
(自然ふれあい交流館集合)
担当 水島未記(当館学芸員)
申込 6月19日(金)から
定員 40名(先着)

ちゃれんが講座

明治初期の人と鳥ーカラスとキジと白鳥とー

日時 8月2日(日) 13:30~15:30
会場 北海道博物館講堂
担当 山田伸一(当館学芸員)
申込 7月3日(金)から
定員 100名(先着)
※道民力レッジ連携講座(教養コース2単位)

【交通案内】

- バス 新札幌駅から——バスターミナル・のりば10(北レーン) ジェイ・アール北海道バス 新22「開拓の村」行きに乗車し、「北海道博物館」で下車
森林公園駅から——森林公園駅東口のりば 新札幌駅からの上記バスが森林公園駅に寄ります ※駅から北海道博物館まで徒歩20~25分かかります
大塚・江別方面から——ジェイ・アール北海道バス・夕鉄バス新札幌方面行きに乗車し、「厚別東小学校前」で下車(バス停から徒歩15分)
- タクシー 新札幌駅から——約10分

人と鶴の多様な関わり

北海道を代表する生物の一つであるタンチョウ(鶴)。直接見かける機会はまれでも、鶴の姿や文字は、日々の暮らしのあちこちで出会います。風呂敷や衣類、酒の銘柄、地名、木彫りのお土産品、アイヌ民族の踊り、等々。この企画テーマ展では、当館収蔵品を中心に、鶴と人との深い関わりあいを探ります。

『尋常小学読本 巻一』(1910年)



火鉢

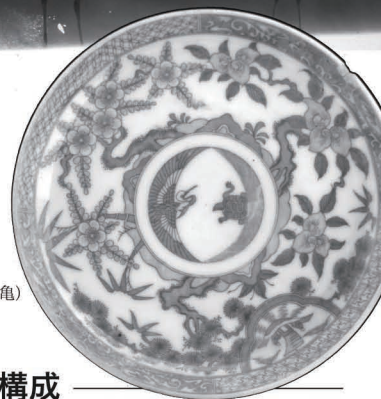
鶴沼神社のお札

鶴沼神社

タンチョウ(タンチョウコミュニティ撮影)



皿(鶴と亀)



展示構成

- I ツルという生き物
- II 北海道の人と鶴の歴史
- III 暮らしのなかの鶴
- IV タンチョウのいま

赤れんが講座

館長×学芸員トーク「鶴」展みどころ紹介

日時 7月25日(土) 13:30~15:30
会場 北海道庁赤れんが庁舎2階1号会議室
担当 石森秀三(当館館長)、水島未記、久井貴世
申込 不要
定員 100名(先着)
※道民力レッジ連携講座(ほっかいどう学2単位)、指定講座(必修1単位)

ちゃれんが子どもクラブ

重いモノを動かす道具

日時 8月8日(土) 10:00~12:00
会場 北海道博物館講堂
担当 会田理人・山田伸一(当館学芸員)
申込 7月9日(木)から
定員 40名(先着)
対象 こども/親子

行事のお申し込みはお電話で!
(受付時間: 9:30~17:00)

011-898-0500 (専用ダイヤル)

※すべての行事の参加料は無料です

北海道博物館
HOKKAIDO MUSEUM

多くの皆さまのご来館を、鶴首してお待ちしております